

4－よくあてはまる 3－あてはまる 2－あまりあてはまらない 1－全くあてはまらない(上段；R5年度 下段；R6年度 矢印；比較)

観点		内容（保護者の質問は教師に準じる）	教師	生徒	保護者	委員	学校意見等；（○よい●課題◎改善点） 運営委員意見等；※ （取組・行事等）	今後の改善方法等
キャリア教育及びふ るさと教育の視点に 立った学習指導の充 実	1	生徒 －将来の夢や希望をもって学習していますか。 教師 －生徒が夢や希望をもてるよう指導していますか。 【評価目標 3】	2.5 3.0 ↗	2.7 3.0 ↗	2.3 2.5 ↗	2.5 2.9 ↗	○3年間を通したキャリア教育を行うことで、学習態度や進路への意欲で前向きな成果が表れている。○地域の方や他校との交流の機会を作ること、生徒自身が自分と向き合い、将来について考えることができた。 ●保護者の評価が低いことから家庭と学校が連携する（意図を知ってもらう・説明する）機会が少なかったと思われる。 ※授業や職場体験等、その他の機会も経ながら本人が将来のことを考える場になればよいと思う。 （職業講話、修学旅行、職場体験、職場訪問、立志の集い、1日体験学習、ひなた場）	・生徒の実態から、将来を見通したキャリア教育を学校と家庭、地域が連携して取り組む。 ・3年間を見通したキャリア教育を系統的、持続的に行う。
	2	生徒 －授業で「分かる・できる」まで取り組んでいますか。 教師 －授業で「分かる・できる」まで教えていますか。 保護者 －先生は、授業を「分かる・できる」まで教えていると思いますか。 【評価目標 3】	2.6 3.0 ↗	2.7 3.0 ↗	2.5 2.5 →	2.8 2.9 ↗	○「ひなたの学び」を取り入れた授業改善に向けての研修を行ったことで教職員の授業への意識が変わった。○少人数指導、ＴＴ授業、学習支援員等を積極的に活用することができた。 ●授業や家庭学習において生徒が主体的に学ぶことよりも受け身の姿勢がつよく、学力差が大きかった。●ＩＣＴの良さを取り入れた授業までは至ってない。 ◎技能教科へ取り組む姿勢の改善が必要である。◎ＩＣＴで、生徒へのタブレット活用の推進と使用についてのルール作りが必要である。 ※家庭での勉強の習慣付けをはじめ、学級での励まし隊等と連携を図りながら、学力向上に努めてもらいたい。また「分かる、できる」まで教えていくことで、子どもたちの学習への意欲を引き出すことが大事である。 （定期テスト、各種検定試験（英語・漢字・数学）、数学少人数指導、ＴＴ授業、学力向上指導員、励まし隊、ＩＣＴの活用、ひなたの学び）	・キャリア教育を通して生徒に将来の夢や目標を持たせて、授業や家庭学習への意欲を高める。 ・生徒の実態に応じて、個別最適な学びを充実につとめる。 ・「ひなたの学び」を継続する。
積極的な生徒指導及 び心の教育の推進	3	生徒 －あいさつや返事がしっかりできていますか。 教師 －生徒はあいさつや返事がしっかりできていますか。 【評価目標 3】	2.5 2.7 ↗	3.4 3.4 →	3.1 3.1 →	2.7 2.9 ↗	○生徒と保護者ともにあいさつがしっかりできていると評価が高い。○他校との交流の機会を作ること、自校の学校生活について振り返る機会をもつことができて良かった。 ●挨拶を積極的に行っている生徒とそうでない生徒がいることで教師の評価が若干低い。 （生徒総会、全校専門委員会、1日体験学習）	・大人も生徒もお互いに積極的に挨拶や声かけをしていくことで、普段の人間関係の醸成を図る。 ・生徒会活動による挨拶運動の推進を行う。
	4	生徒 －学校の約束（時間・服装・きまり）をしっかりと守っていますか。 教師 －生徒は、学校の約束（時間・服装・きまり）をしっかりと守っていますか。 【評価目標 3】	1.6 3.3 ↗	3.5 3.4 ↘	2.4 2.8 ↗	2.2 3.0 ↗	○プロジェクト会議や他校との体験学習を通じて、生徒が自校の学校生活について振り返ることができて、改善が見られた。特に教師の評価が今年度はかなり上がっている。○服装については生徒自身が意識して整えられるようになったと思われる。 ●給食活動や清掃活動について、十分にできていない。●基本的な礼儀や服装ができていない生徒の差がある。 ◎学校の約束についてスピード感をもって整理していく必要がある。 ※約束や決まりごとは、一生大切なものです。 （生徒指導集会、生徒総会、全校専門委員会、プロジェクト会議、1日体験学習、ひなた場、いじめ防止講話）	・今後も生徒会を中心に、生徒と教師が一緒になって、校則の見直し、学校生活の約束について考えていくことで、生徒の主体性をはぐくむ。
	5	生徒 －いじめや嫌がらせ等を絶対許さないという気持ちがありますか。 教師 －いじめや嫌がらせ等をしないための指導を行っていますか。 【評価目標 3.5】	3.2 3.3 ↗	3.2 3.6 ↗	2.8 2.6 ↘	2.5 2.6 ↗	○いじめ防止講話などを行い、いじめは絶対許さないという人権意識を高めることができた。特に教師・生徒については評価が高い。 ●保護者・地域の方には人権意識について浸透していないと思われていて、評価が低い。●ＳＣが設置されたが活用の機会が少なかった。 ◎保護者と地域も含めた人権意識を高める啓発や機会が必要である。 ※授業や研修会での啓発の他、対応窓口の設置など、フォロー体制も必要である。※いじめからどんな問題が起きていくのか、命の尊さをしっかり受け止めてほしい。 （いじめ防止講話、薬物乱用防止教室、教育相談、学校生活アンケート、命の教育）	・保護者と学校と連携していじめの早期発見、早期解決につとめる。 ・警察等とも連携して、いじめ防止や人権学習の講話等を積極的に行い、さらに啓発・広報活動の充実につとめる。 ・ＳＣと連携して相談活動の積極的な活用を行う。

観点		内容（保護者の質問は教師に準じる）	教師	生徒	保護者	委員	学校意見等；（○よい●課題◎改善点） 運営委員意見等：※ （取組・行事等）	今後の改善方法等
健康・安全教育と体力増進の推進	6	<p>生徒－自分の命を大切にしていますか。安全な生活を心がけていますか。</p> <p>教師－命を大切にする指導や、危険回避能力の育成を行っていますか。</p> <p>【評価目標 3.5】</p>	3.2 3.7 ↗	3.5 3.8 ↗	3.3 3.0 ↘	3.5 3.5 →	<p>○町内避難訓練を合同で行い、年々内容も充実してきた。○防災に関する意識は高いと思われる。</p> <p>●避難訓練の必要性和真剣に取り組む態度の指導が十分でない。生徒の意識や態度に差がある。●自転車の乗り方（ヘルメット着用、二人乗り）でできていない生徒がいた。</p> <p>◎町内避難訓練では学年に応じた中学生としての責任と役割をもたせた内容にしていける必要がある。◎保護者から避難訓練や性教育については、家庭より講師からの話の方がストレートに入るので、今後もさらに充実させて欲しい。</p> <p>※避難訓練時の緊張感が足りていない。※防災意識はこれから先のことを思うと身に付ける大切なものである。（命の教育、交通安全教室、避難訓練（火災・地震）、交通安全祈願植樹）</p>	<p>・防災意識は高いことから、今後は災害に対応する実践力を身に付けさせる。</p> <p>・町内避難訓練では地域と連携して、学年に応じた、より充実した内容としていく。地域における中学生の役割について説明をして、真剣さと緊張感をもって参加できるようにしていく。</p> <p>・交通ルールや校内生活の過ごし方について振り返る機会をつくる。</p>
	7	<p>生徒－学校で、健康予防対策をしっかりと行っていますか。</p> <p>教師－健康予防対策をしっかりと行い、健康予防の指導を行っていますか。</p> <p>【評価目標 3.5】</p>	3.3 3.5 ↗	3.2 3.1 ↘	2.8 2.8 →	2.7 2.7 →	<p>○感染症予防対策への意識が高く、教師・生徒ともにマスクや教室の換気、手洗いなど積極的に取り組んだ。</p> <p>●給食時の配膳の状況やランチョンマットの使用で衛生的に心配である。</p> <p>◎生徒会活動の委員会活動の中で取り組めるとよい。</p> <p>※養護教諭とも連携しながら、啓発、実践等に取り組んでいってもらいたい。（給食感謝集会、学校保健委員会、給食指導集会、全校給食委員会）</p>	<p>・マスクや教室の換気、手洗いなどしっかりと行うように指導する。</p> <p>・全校保体給食委員会の積極的な活動の推進を行う。</p>
	8	<p>生徒－体育的行事や部活動に積極的に取り組み、体力向上に努めていますか。</p> <p>教師－体育的活動や部活動の充実を図り、体力向上に努めていますか。</p> <p>【評価目標 3.5】</p>	3.0 3.3 ↗	3.3 3.3 →	3.1 2.7 ↘	2.8 3.0 ↗	<p>○教師・生徒ともに体育的行事・部活動に積極的に取り組んだ。○生徒のアイデアを取り入れながら行事を行った。</p> <p>●保護者の評価が低いことから、以前と比べて運動能力の低下を心配しているかと思われる。●新体力テストの結果から柔軟性が低いことが分かった。</p> <p>◎生徒の日でも先生方が部活動に参加してくださりありがたい。（部活動生集会、中体連推戴式、新体力テスト、体育大会、文化発表会、送別行事）</p>	<p>・保健体育の授業を中心に体力向上につとめる。</p> <p>・体力向上プランを見直して、柔軟性を高める運動に力を入れる。</p> <p>・学校行事については生徒のアイデアを取り入れながら、全員が参加しやすい環境を整えていく。</p>
保護者・地域に信頼される学校づくり	9	<p>生徒－学校のHP・学級通信・学級通信等で学校の様子を確認していますか。</p> <p>教師－学校は、情報発信（HP・通信等）により、学校の様子を伝えていますか。</p> <p>【評価目標 3.5】</p>	3.2 3.2 →	2.1 2.4 ↗	3.5 2.5 ↘	3.0 2.9 ↘	<p>○学級通信については定期的に発行することができた。○学校だよりを紙媒体に加えて、安心安全メールで送信するようにした。</p> <p>●HPの定期的な更新がなされておらず、特に保護者の評価が低かった。</p> <p>◎保護者からアンケート等はQRコードだけでなくプリントで生徒に配付してほしい。</p> <p>※HPの更新が少ない。生徒が「生徒新聞」のようなものはどうか、と話し合ったがどうなったのか？※現代の情報社会の中で、案件によってメールやプリントなど使い分けながら、迅速、的確な情報提供や連絡など今後とも家庭への理解と協力が欠かせないと思われる。（ホームページ、学級通信、学校だより、保健だより）</p>	<p>・学校の教育活動を理解してもらうために、紙媒体に加えて、HPや安心安全メール等も活用しながら積極的な情報発信を行う。</p> <p>・紙媒体については、確実に家庭に届くように生徒に指導するとともに、家庭の協力も促す。</p>
	10	<p>生徒は、ふるさと北浦を大切に、地域に貢献していますか。</p> <p>【評価目標 3.5】</p>	2.6 2.8 ↗	3.0 3.0 →	2.8 3.1 ↗	3.0 3.1 ↗	<p>○総合的な学習で地域の人材や素材を活用した授業や学校行事を展開することができた。○職場体験学習や地域清掃活動等で地域に貢献しており、昨年度よりも評価は上がっている。◎地域清掃活動は、小中合同で取り組めるとよい。</p> <p>（学習発表会、職業講話、修学旅行、職場体験、職場訪問、地域清掃活動、ひなた場）</p>	<p>・地域の人材や素材を活用した授業や学校行事を展開する。</p> <p>・地域と連携して地域の行事や祭りなどに積極的に参加するように促す。</p> <p>・地域に学習内容や参加の様子などを発表する機会をもつようにする。</p>